



事項	「第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市 グローバル拠点都市(広域都市圏型)」へ選定されました！
内	中部圏の持続的な成長のため、名古屋市では、一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、浜松市、等と連携し「Central Japan Startup Ecosystem Consortium (以下、コンソーシアム)」を組成し、令和2年に内閣府よりスタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市に選定されております。 この度、岐阜県、三重県、静岡県を加えた当コンソーシアムが、内閣府の「第2期スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市 (広域都市圏型)」として選定されましたのでお知らせします。 記 1 「第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市」の概要 内閣府が、令和2年7月に選定されたスタートアップ・エコシステム拠点都市をグローバル水準に引き上げることを目指し、現行の拠点都市の枠組みについて発展的に改組を行うとともに、新たな拠点形成計画について選定を行うもの。 「グローバル拠点都市」が8か所(広域都市圏型：4か所、中核都市型：4か所)、それに準ずる「NEXT グローバル拠点都市」が5か所選定され、当コンソーシアムはそのうちの「グローバル拠点都市 (広域都市圏型)」に選定されました。 ＜グローバル拠点都市の類型＞ ・ 広域都市圏型：複数都市の量的なポテンシャルを集積・発揮し、多層的な産学官金で構成するエコシステム ・ 中核都市型：核となる都市の特異なポテンシャルを発揮し、多様な産学官金で構成するエコシステム 2 当コンソーシアムの拠点形成計画について (1) 計画主体 ①名 称：Central Japan Startup Ecosystem Consortium ②代 表 者：一般社団法人中部経済連合会 会長 水野 明久 ③構成組織：一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市(事務局)、浜松市、岐阜県、三重県、静岡県をはじめ 327 企業・団体・大学等 (2) 拠点形成計画の内容 ○ビジョン 「世界における最先端のものづくりイノベーションの中心地」 ものづくり技術や生産ノウハウなどを世界のスタートアップの革新的な技術やビジネスモデルと融合させ、イノベーションをリードするグローバルな拠点に。 日本全国・世界中から多様なスタートアップが集まるネットワークハブに (詳細は別紙1参照)
備考	本件は、6月4日に市政記者クラブ、経済記者クラブ、教育記者会へ資料提供しました。